

刺されて痒い、血を吸われるといった直接的な被害を起こすだけでなく、刺されはしないが死がいや糞を吸い込むことにより、アレルギーを引き起こす原因にもなります。

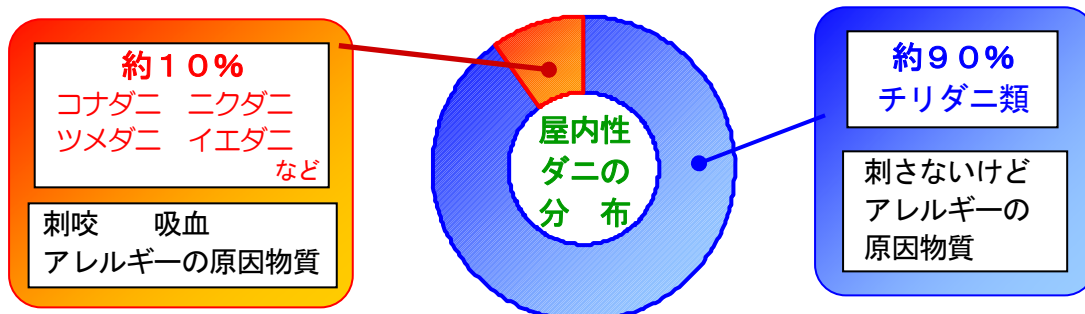


## 形態

- ・頭・胸・腹の部分が1つに融合し、体部にくびれが全くない卵形。
- ・成虫の脚の数は8本。
- ・ほとんどの種は肉眼で見るとは大変難しく、体長は種により0.2mm～10.0mmと異なります。

## 生態

- ・室内にいるダニの80～90%がチリダニ。じゅうたんや畳などのホコリに生息し、人の垢やフケ、カビ、食品クズを食べています。高温多湿を好み、温度22～28℃・湿度60～85%の環境でエサもあれば活発に繁殖します。
- ・チリダニなどをエサにして生活しているのがツメダニ。室内では比較的少ないダニですが、ツメダニのエサとなるチリダニなどが増えると大発生します。通常、人を刺さないが、大発生すると人に偶発的に接触する機会が増加し、人を刺す場合があります。
- ・ネズミに寄生するのがイエダニ。ネズミが死ぬと死がいや巣から離れて人に移行し、吸血する場合があります。
- ・温度15℃前後の低温で湿度70%以上の高湿を好み、冬にも発生するのがイエニクダニ。冬でも、加湿器を使用することで高湿になる場合があります。結露によりカビが生えた壁面や家具、畳などに発生します。動く小さな白い粉のように見えます。



## ● 被害

- ・ ツメダニは人を刺しますが、吸血しません。ツメダニに刺されてもチクリとした感覚はなく、すぐに反応も現れません。刺されて8～48時間後に赤く腫れ、痒みが起きます。発生時期である夏に刺されることが多いです。
- ・ イエダニは家ネズミに寄生して吸血するダニですが、人からも吸血します。家ネズミが人の居住空間に侵入し繁殖してくるとイエダニの被害も増えます。家ネズミの発生は冬にも多いので、被害は1年中続きます。冬のダニ刺されはイエダニによることが多いです。イエダニに刺されると、直ぐに激しい痒みに襲われ赤くただれます。
- ・ チリダニは刺しませんが、死骸・脱皮殻・糞などが気管支喘息などアレルギー性疾患の原因となります。アレルギーを起こしやすい人が吸引してしまうとアレルギー反応が起こることがあります。

## ● 被害にあったと思ったら

- ・ 痒みや、アレルギー性疾患はダニ以外の様々な原因による場合もあります。できるだけ医療機関を受診し、専門医の診断を受けましょう。

## ● 駆除するには

- ・ こまめに換気をして、室内の湿度を下げます。(湿度50～55%が望ましい)
- ・ ダニは室内のホコリのたまりやすい場所に生息しています。掃除機をゆっくりと回し、いねいにかけてください。
- ・ 布団は晴天時にこまめに干します。1週間に1回は表面に掃除機をかけます。(布団用ノズルをつけると便利です)
- ・ 畳も晴天時に干します。60℃以上で加熱乾燥させることも効果があります。(専門業者に依頼。一部熱処理できない畳もあります)
- ・ イエダニの宿主であるネズミを駆除します。ネズミの死体や巣を除去した後は、スプレー式殺虫剤などをよく噴霧します。

## ● 発生を予防するには

- ・ 通気をよくして、部屋の湿度を下げます。
- ・ こまめに掃除をします。
- ・ 畳の上に絨毯などを敷くと湿気がこもりやすくなるので避けます。

相談事例

ダニに刺された。  
どうやって駆除するの？

